

血清蛋白

—基準値表—

項 目	異常域(低)	境界域(低)	基準域	境界域(高)	異常域(高)
総蛋白 (TP)	~6.1	6.2~6.4	6.5 ~7.9	8.0~8.3	8.4~
アルブミン	~3.6	3.7~3.8	3.9 ~		
アルブミン・グロブリン比 (A/G)	~0.80	0.81 ~1.09	1.10 ~2.00	2.01 ~2.19	2.20~

・蛋白分画

特殊な検査により、アルブミンとグロブリン(α_1 、 α_2 、 β 、 γ)の総蛋白に対する存在割合を%で表示します。

蛋 白 分 画	分画A/G	~1.29	1.30 ~1.49	1.50 ~2.20	2.21 ~2.65	2.66~
	分画ALB	~51.0	51.1 ~59.7	59.8 ~62.0	62.1~	
	α_1 -G		~1.8	1.9 ~2.2	2.3~	
	α_2 -G		~6.4	6.5 ~8.7	8.8~	
	β -G		~6.7	6.8 ~10.8	10.9~	
	γ -G		~19.0	19.1 ~20.4	20.5 ~22.9	23.0~

総蛋白
(TP)

血液の液体成分である血漿から、血液凝固に関わる蛋白質（フィブリノーゲン）を除いたものが血清ですが、その中にアルブミンとグロブリンという2種類の蛋白質が含まれていて、この2つを合わせて総蛋白といいます。総蛋白のほぼ3分の2がアルブミンで残りがグロブリンです。

アルブミン
(ALB)
アルブミン/
グロブリン比
(A/G)

アルブミンは肝臓でのみで作られますので、その製造能力が落ちる慢性の肝臓病や、尿中にアルブミンが多量に漏れてしまうネフローゼ症候群では、血液中のアルブミン濃度が減り、従ってアルブミンとグロブリンの比(A/G比)も低くなります。血液の浸透圧(血液の水分を血管内に保持する力)はアルブミンによって保たれていますので、それが減ると血液の水分が毛細血管の外へ滲み出して、むくみ(浮腫)が生じます。